



東京電機卸

第185号

TOKYO DENKI OROSHI



発行
 東京都電機卸商業協同組合
 〒113-0034 東京都文京区湯島3-6-1
 電話 03 (3832) 4295
<http://www.tep.or.jp/>

第77回総会は5月8日に実施

TEP / 4月度理事会を開催



東京都電機卸商業協同組合（TEP）は4月16日、全国家電会館で4月度理事会を開催し、5月8日に上野・東天紅で開催される第77回通常総会について検討した。また各委員会から会員数や永年勤続社員表彰者の推移、親睦会やKEPとの交流会について、新鋭社員教育受講者の推移、電子機器トータルソリューション展の出席状況などについても報告が行われた（写真は新鋭社員教養講座で挨拶する屋宮理事長）。

東京電機卸第185号目次

TEP / 4月度理事会を開催……………	2P
電子機器トータルソリューション展2026……………	4P
CEATEC2026……………	5P
第21回電機卸親睦ゴルフコンペ……………	5P
第69回新鋭社員教養講座……………	6P
第50回新鋭社員早期戦力化セミナー……………	8P
第21回新鋭社員1年後フォローアップ研修……………	10P
とうきょうでんきおろし告知板……………	12P

屋宮芳高理事長 挨拶

4月度理事会の冒頭、4月から事務局に入局した佐藤泰宏次長が挨拶。

続いて屋宮芳高理事長は、次のように語った。

「現在、国内外で非常に騒がしい情勢が続いており、日々テレビのニュースを見ては、その行く末を案じるような状況にある。

このように先行きが不透明であることは、我々の仕事にとっても非常に厳しい状況であると言わざるを得ない。我々の業界においても、直接的に電子部品といった言葉は出てこないかもしれないが、石油由来の材料を使用しており、それが輸送コストなどにも大きく関係している。連日のように各地で値上げ



挨拶する屋宮理事長

のニュースが報じられており、我々にとっても決して無関係なことではない。

こうした不安定な状況に流されるのではなく、今こそ『人間力』を養い、人材育成を図ることで、我々自身の足元をしっかりと固めていきたい。同時に、この組合組織をより強固なものにしていきたいという思いだ。

事務局からの提案・報告

事務局からは渡辺勤事務局長から次の提案と報告が行われ、承認された。

- ① 令和7年度収支決算報告について
- ② 令和8年度収支予算(案)について
- ③ 第77回通常総会開催および提出議案について
- ④ 第77回通常総会の役割分担等について

① 令和7年度収支決算報告については、令和8年3月31日現在の報告書を基に説明。

② 令和8年度収支予算(案)については、資料を基に説明。

③ 第77回通常総会開催および提出議案については、令和8年5月8日に上野・東天紅で理事会実施後に通常総会を開催することを報告。また事業報告や事業計画、決算並びに収支予算、理事及び監事報酬、その他等について提案。

④ 第77回通常総会の役割分担等については、総会の担当について提案が行われた。

各委員会からの報告

続いて、各委員会からの報告が、次のように行われた。

○組織委員会 (樋口巨委員長)

令和7年度組合員異動状況(4月1日時点)について、組合員数が3社減、1社増で109社、賛助会員数が1社減で20社となったことを報告。

○会員サービス委員会 (小川秀敏委員長)

令和8年度労働災害補償制度加入企業一覧等について、現在は5社が加入し、新たに1社が加入希望をしていることを報告。

また今年度の永年勤続社員

表彰者の推移状況については、10年以上が8社17名、20年以上が11社18名、30年以上が6社13名、昨年度から新設された40年以上の表彰については5社8名が推薦されたことを報告。

また補足として小川委員長は「4月7日に相模原ゴルフクラブにて、23名が参加する親睦ゴルフコンペを開催。さらに、4月19日は第114回親善野球大会の決勝戦および3位決定戦を開催。

また今回の親睦ゴルフコンペだが、9月11日に近畿電子部品卸商組合(KEP)の方々にもご参加いただき、例年より規模の大きいコンペを我孫子ゴルフ倶楽部にて開催する。参加を希望される方はお早めにご連絡下さい」と報告した。

屋宮理事長は「KEPは各単組との親睦を深めるために全国を巡っており、九州や中国、名古屋を経て、今回は東京での開催となる。

9月10日にKEPの皆様と懇親会を行い、翌11日にゴルフコンペを開催する。交流す

る貴重な機会なので、ぜひ懇親会から積極的にご参加いただきたい」と語った。

○教育情報委員会 (市村康徳委員長)

新鋭社員教育他受講者の推移状況について報告。新鋭社員教養講座が10社35名、新鋭社員早期戦力化ゼミナールが14社42名、1年後フォローアップ研修が10社22名が参加したことを報告。

市村委員長は「今後も、新入社員向けに6カ月後のフォローアップ研修を行うなど、継続的に取り組んでいく」と語った。

○イノベーション委員会 (浜田健太郎委員長)

電子機器トータルソリューション展2026(JPCA Show)について、6月10日〜12日に開催され、TEPからは16小間、全国電子部品流通連合会(JEPC)からは13小間の出展となることを報告。

またCEATECおよびJPCA Showのノベルティの詳細について、花岡克己副委員長が、「ノベルティと



理事会では総会の議事や進行などについて検討

として配布しているバッグが、昨今の資材高騰により制作費が大幅に上昇したことを受け、今年度は予算削減を目的として、デザインを一新する。初期費用としての版代は掛かるが、単価を100円程度抑えることができ、来年以降はさらに安価に制作できる見込みであることを報告。また同展の運営委員でイノベーション委員会副委員長を務める川鍋季明理事は「同展

最後に、次回の理事会は5月8日に上野・東天紅で14時から開催され、理事会終了後に第77回通常総会が14時30分から開催されることが確認された。

その他

最近では、基板製造メーカーが自ら部品調達まで行うケースも増えており、展示会での対話が新たなビジネスチャンスにつながる可能性も十分にある。ぜひこの機会に会場を訪れてみてください」と語った。

また屋宮理事長も「同展はもともと基板関連の展示会だが、日本回路工業会の厚意により、我々も主催者として参加している。

は毎年非常に盛況だが、半導体業界の参入など、時代の変化や最先端の技術を肌で感じられる場となっている。また多数のセミナーも開催されるため、業界知識を共有する絶好の機会。出展されていない方も、ぜひ会場へ足を運んでいただければ幸い」と語った。

皆さまへ「安心」をお届けします

～退職給付(年金)制度は重要な人的資本投資です～



◀電機年金基金ホームページ

各種事務・請求手続き、福祉事業のご利用案内のほか、ライフプラン・マネープランに関するお役立ち情報を発信しています。

東京都電機企業年金基金

東京都電機企業年金基金

〒113-8555

東京都文京区湯島3丁目31番6号 大塚ビルディング

電話(03)3836-2711 FAX(03)3839-3766



加入員の健康づくりを

サポートし、活力あふれる

毎日を応援します！



東京都電機健康保険組合

〒113-8566

東京都文京区湯島3丁目15番4号

電話(03)3834-7211 FAX(03)3837-1195

<https://www.denkikenpo.or.jp>

電子機器トータルソリューション展2026

ECU Show、11社が出展!

一般社団法人日本電子回路工業会が事務局を務める「電子機器トータルソリューション展2026」(JPCA Show)が2026年6月

10日~12日の日程で、東京ビッグサイト東展示棟で開催される。

同展は、東京都電機卸商業協同組合(TEP)と全国電子部品流通連合会(JEP)からの参加企業によって実施

される「Electronics Component & Unit Show(ECU Show)」に加え、

第55回国際電子回路産業展、第40回最先端実装技術・パッケージング展、第27回実装プロセステクノロジ展、AIデバイス展、電気・光伝送技術展、イーテキスタイル/ウェアラブル展で構成。

26年展からは、新たに半導

体産業展とOSAT Solution Showが加わる。

なお開催初日には、主催団体の代表者らによる開会のテープカットセレモニーやレセプション等が行われる予定となっている。

JPCA Showは、昨年442社/団体が出展し、来場者数は4万9760名となった大規模な展示会。また

ECU Showに出展した会員企業からは「新たな開拓先につながった」、「優秀な人材の紹介につながった」、「社員がECU Showでの展示に合わせ、新しい検討を行っている」、「社員たちが展示の見せ方などを検討し、注目を集め、集客するように頑張っており、成長につながっている」等の意見も出ている。

なおJPCA Showでは、様々な講演やシンポジウムも実施される。

25年展の講演では「日本の半導体戦略の現状と今後」、「AIと半導体が世界経済を引っ張る主役の時代がやってきた」、「JEITA2024年度版実装技術ロードマップ 注目される市場と電子機器群」、「スマートフォン・周辺機器、AIサーバーの業界見通し」等の興味深い講演が実施された。

成AIの最新動向、現状と課題」、「CHIPLETの最新動向、現状と課題」、「5G/6G向け高周波対応材料開発動向」等の様々なテーマのものが行われた。

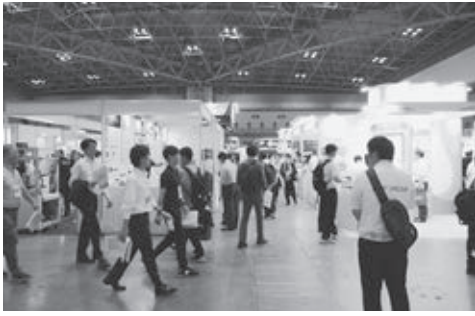
ぜひ、来場して参考にしていただきたい。

26年展は11社が参加予定

2026年に開催されるECU Showには、TEPからは三共社、ジュバ、メトロ電気、アール電子、日川電機、飯田通商、グローバルディスプレイの7社16小間の規模で参加を予定。

またJEPからは、岡本無線電機、東亜無線電機、ツルク制御機器、成電社の4社13小間の規模での参加を予定している。

また事務局も参加し、会場では「JEP会員名簿」と特製エコバッグの配布も実施する。



昨年のECU Show会場



自社ブースをアピール



JEP・TEP事務局ブース

CEATEC2026

10月13日から4日間、開催

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）は、

2026年10月13日～16日までの4日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）にて「CEATEC

EC2026」を開催することを発表した。

26年は開催テーマに「Transformation」

「Transformation」で、AI、社会インフラ、サステナブル等をテーマとして出展を募集。

企業が、産業が、そして社会が変わる」を挙げており、

「JEPも出展、名簿を配布

あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く場を提供するとしている。

なお、全国電子部品流通連合会（JEP）は毎年、CEATECに出展。JEP会員名簿」やオリジナルエコバッグを配布し、JEPのアプリ



昨年のJEPブース

CEATEC2026の展示エリアは、一般展示エリア、企画展示の「Transformationパーク」ネットワーク「グローバルパーク」等構成。注目の「Transf

CEATEC2026にもJEPブースを出展する予定なので、CEATECに来場の際は、ぜひともJEPブースに立ち寄ってほしい。

第21回電機卸親睦ゴルフコンペへ

相模原ゴルフクラブで開催

東京都電機卸商業協同組合（TEPC）会員サービス委員

フコンペを開催し、23名が参加した。

フクラブ（神奈川県相模原市南区大野台）で実施され、参加者らは大いに懇親を深めた。

会（小川秀敏委員長）は4月7日、第21回電機卸親睦ゴルフ

天候にも恵まれ、相模原ゴルフ

加者らは大いに懇親を深めた。

HAMADA
制御部品、パソコン周辺機器、監視・防犯システムの総合商社



FA 制御部品

独自のアイデアでお客様のニーズに応える



PC周辺関連機器

浜田電機株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 TEL:03-5651-7351(代表)

秋葉Direct TEL:03-6825-3180 <https://www.akibadirect.com/>

<https://www.hamada-dk.com/>

世界に広がる ネットワーク

◆海外販売拠点
中国：香港、深圳、成都、広州、重慶、武漢、上海、大連、合肥、杭州
タイ：バンコク、クラレック、ランパーン、ピッサヌローク
マレーシア：クアラルンプール、ジョホールバル、ペナン
ベトナム：ホーチミン、ハノイ
シンガポール、フィリピン

◆海外生産工場
中国、タイ、ミャンマー

○主な取扱メーカー

ピロセ電機	ローム	ソーセミコンダクタソリューションズ
シャープ	ニチコン	岡谷電機産業
東京エレクトロニクス	双信電機	放熱器のオーエス
竹内工業	FDK	坂東電線
タカチ電機工業	沖電線	サガミエレク
		タムラ製作所
		SEMITEC
		大真空
		Ambiq Micro

飯田通商株式会社

IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co.,Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-3

TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213

<https://www.iida-tusho.co.jp/>

第69回新鋭社員教養講座

10社から35名が社会人の基礎を学ぶ

東京都電機卸商業協同組合（TEP）教育情報委員会は4月1日、全国家電会館で第69回新鋭社員教養講座を開催し、10社から35名が参加した。

講師はoffice Yumiの片野由美子氏が務め、「しなやかに・美しく・逞しく」をテーマに、社会人としての第一歩に必要な、注意点や心構え、約束、決意を整理し、働く姿勢を学んだ。

開講に当たり、屋宮芳高理事長は入社を祝福した後、秋葉原の歴史について次のように語った。

「昭和25年頃、日本がGH



屋宮理事長



片野講師

Qの統治下にあった時代、復員してきた人々が秋葉原の周辺で露店を開き、米軍から放出された物資などを販売し始めたのが始まりです。その後、衛生環境の観点から露店が規制されることになり、真空管や各種部品を販売していた店舗を収容するために作られたのが、現在のガード下などにあるラジオデパートやラジオセンターです。

先輩方は、そこから真空管や電子部品の販売を始め、やがてアメリカから入ってきたラジオやテレビを日本でも作るろうと、懸命に技術を磨いてきました。秋葉原について掲

示されているパネルや、古い看板をよく見ると、歴史ある電機メーカーの名が刻まれていることに気づくでしょう。まさに、日本の高度経済成長とともに歩んできた歴史があるのです。

我々の業界は、アメリカに追いつけ追い越せという意気込みで、冷蔵庫、洗濯機、ラジオ、さらには自動車などに必要な部品を供給する役割を担ってきました。一時は日本の半導体産業が世界を席巻し、東芝、NEC、三菱電機、日立製作所といった、あらゆるメーカーが半導体を製造し、非常に勢いがありました。

しかし現在では、家電生産の拠点が海外へ移り、国内での製造が減少するなど、かつての右肩上がりの状況とは異なっています。

しかし、皆さんが手にしているパソコンやスマートフォン

ンなどのあらゆる電子機器には、今も膨大な数の電子部品が使われています。我々の使命は、それらの部品を安定的に供給することにあります。

これからの時代、電子部品をどのように販売し、会社をどう成長させていくかが問われています。単に部品を扱うだけでなく、組み立てまで踏み込むのか、あるいは海外市場へ打って出るのか。現状に甘んじることなく、新しい価値をいかに創造していくかが極めて重要です。

今の状況を冷静に見つめ、自分がどう会社に貢献し、どのような人生を築いていくかを、今日の研修を皮切りに、じっくりと考えてみてくださいます。

続いて、片野講師の研修が開始された。

研修は3部構成となり、第1部が新社会人としての基本、第2部がしなやかに生き

るための知恵、第3部が美しく成長していくための知恵について説明。片野講師は「本日の講義のテーマは『たくましく、しなやかに、そして美しく』。特に第2部の『しなやかさ』をメインテーマとしてお話しいたします」と語り、研修を開始。

最初に「皆さんに自己紹介をしていただきたい。お話しただきたい内容は、入社された会社名、フルネーム、そして自身のチャームポイント。自分を覚えてもらうためのきっかけとして、ぜひ一言披露してください」（片野講師）と語り、15秒程度での自己紹介を開始した。

続いてグループワークも行われ、4名でグループを作り「教養」とはどのようなことをイメージし、どのようなものだと捉えているのかについて、意見交換を実施。

片野講師は、「教養の主な要



自己紹介の様子

素は、単なる知識だけではない、それに考える力を掛け合わせたもの。知識を応用できる形に変え、状況に応じて引き出せる状態にすることが重要。

また、世の中には正解が1つではない事柄が数多く存在する。皆さんもこれから、どちらでも正しそうに思える板挟みの場面に遭遇するだろう。そのような時に、多様な視点

から答えを導き出せる力が教養。これに加えて、学問を通じて培われる倫理観やバランス感覚といった人間力や価値観も含まれる。これらが合わさって、いわゆる『教養ある振る舞い』や『人柄』という、心に関わる部分につながっていく。

昨今、AIは何でも教えてくれるし、多岐に渡るアドバイスを提示してくれるが、すべてを鵜呑みにする人は少ないはず。最終的に行動を決めるのは自分自身。これはAIに限らず、他人に相談してアドバイスをもらう場合でも同じ。最後に決断を下すのは自分自身。最適な決定をするために備えておくべき武器こそが教養。教養とは自ら積み上げていくもの。一生懸命に探求していく姿勢こそが、教養ある生き方につながっていく」と語った。

参加者はこれ以外に、学生と会社員の違い、ビジネスにおける守・破・離、ホウレンソウ、心の余裕や対応力を含めたしなやかさ、美しい社会人の要素などについて学んだ。



グローバルな視点で 次代を拓く。

中国、インド、シンガポール、台湾、そして日本。
私たちは「有言行動」の信条のもと、
地域に密着した各営業拠点と連携し、
スピーディかつ柔軟なコンサルティングセールスで
お客様の需要を満たし続けます。

**独自性を追求する半導体・電子部品の技術商社
オーエスエレクトロニクス株式会社**

〒101-0021
東京都千代田区外神田 3-16-8
秋葉原三和東洋ビル
TEL. 03-3255-5985
<https://www.oselec.jp/>



お客様のニーズに合った
最適なソリューションを
ご提案いたします



Electron Parts



角田無線電機株式会社
KAKUTA RADIO & ELECTRIC CO., LTD.

<https://www.kakuta.co.jp>

電子営業部
〒116-0001 東京都荒川区町屋 1-38-16

TEL	03-6859-2600	
FAX	03-6859-4940	(お見積)
FAX	03-6859-4941	(ご注文)

第50回新鋭社員早期戦力化ゼミナール

「仕事に困らない基本動作」を学ぶ

東京都電機卸商業協同組合（TEP）教育情報委員会は4月2日～3日に掛け、全国家電会館で第50回新鋭社員早期戦力化ゼミナールを開催し、14社から42名が参加した。講師は大谷更生総合研究所合同会社代表の大谷更生氏が務めた。

開催に当たり、市村康徳教育情報委員長は「今回のゼミナールは総勢42名の方々にご参加いただいている。せっかく貴重な時間を割いてお越しいただいたのだから、今日と明日の2日間、積極的に学んでいただきたい。」

本日の受講者の皆様の中に



市村教育情報委員長

は、学校を卒業したばかりの方もいれば、中途で入社され、すでに具体的な業務や担当をお持ちの方もおり、その背景は様々かと思う。そうした状況の中で、『自分は普段の業務を正しく遂行できているだろうか』『理解したつもりになっているだけではないか』といった点を振り返りながら、受講していただきたい。

この研修が皆様にとって意義のあるものにしていただければ幸いだ」と激励した。続いて大谷講師は「本研修の実施方法や目的を説明し、その後、自己紹介を行う。続いて『組織で成果を上げる』



大谷講師

というテーマについて考え、午後は『報連相（報告・連絡・相談）』と『ビジネスマナー』を中心に進める。さらに、『ビジネス応対』の一部として、言葉遣いや敬語の基本を学ぶ。

2日目は、敬語の話を引き継ぎ、電話応対や名刺交換などの実践的な『ビジネス応対』から開始。一通りの知識を学んだ後は、皆様に実習を行っていただく。私が作成したシナリオに基づき、お客様役と営業役に分かれて実際に会話を体験していただく。

その後、ビジネス文書の作成方法を学び、演習を行い、その後はコミュニケーション力や問題解決について考え、最後に全体のまとめを行ったと終了となる。

この2日間の研修で私が掲げているゴールは、『明日から取り組む仕事に困らない基本

動作を身につける』こと。

皆様の中には、これからどのような仕事をするのか、期待や不安を抱いている方も多いかと思う。しかし、どのような職種であっても、求められる基本動作の本質は変わらない。

重要なのは、『なぜそれを行うのか』という理由を理解すること。

例えば、名刺交換の所作やお辞儀の種類には、それぞれ意味と使い分けの理由がある。形だけを覚えても意味がない。自分が今どのような場面にいるのかを理解した上で使い分けることが大切。また、判断に迷った際の原則を知っておくことで、柔軟な対応が可能になる。

本研修では、3つのポイントを意識していただきたい。1・理由（なぜ）を知る。理由がわかれば、型が腑に落ち、自然に振る舞えるように

なる。

2・自分のわからないことを把握する。何がわからないのかを明確にするため、演習や講義を通じて、自身の知識を『わかる・わからない』に仕分けしてほしい。

3・『知っているけれど、できないこと』に気づく。知識として知っていても、実践できないことは多くある。自分の課題を把握することで、それを克服するための具体的な行動につながる。それができると助言し、ゼミナールを実施した。

新鋭社員の印象

2日間のゼミナール終了後、大谷講師は参加した新鋭社員の様子について、次のように語った。

「全体として、非常に規律正しく行動している印象を抱いた。時間管理はもちろん、朝の挨拶もしっかりとしてお

り、休憩時間もルールを遵守し、運営側としても非常にスムーズに進行することができた。一方で、演習の時間における取り組み方については、さらなる向上の余地があると感じた点もある。



セミナーの様子

例えば10分の演習時間を設けた際、7分ほどで課題を終えた一部の方々が、残りの3分間を手持ち無沙汰に過ごしてしまいうケースが見受けられた。

時間内に課題を完了させるという点では合格点だが、限られた時間を最大限に有効活用するという観点では、一歩踏み込んだ姿勢がほしい。

私は、仕事に取り組む姿勢には2つの段階があると考えている。第1段階は『締め切りを厳守し、時間内に仕上げる』こと、そして第2段階は『与えられた時間を最大限に活用し、成果物の質をさらに高めること』。

参加者らは第1段階は十分にクリアしているが、そこから『追加できる要素はないか』、もしくは『課題に対してもう一工夫できないか』と、より高いレベルを目指して取り組んでもらえれば、より良い状態につながったのではないかと感じている。

ペアワークなどにおいても、課題が終わったからといって黙り込むのではなく、残

りの時間を使って積極的に情報交換を行うような姿勢を期待したい。

今後は、与えられた条件の中で最大限の成果を出すという、プロフェッショナルな姿勢への挑戦を促していければと考えている。

新鋭社員の上司、先輩へ

また大谷講師は、新鋭社員の上司、先輩方に伝えたいこととして「彼らは非常に『空気を読む』ことに長けている反面、周囲の状況を敏感に察知しすぎる傾向がある。

上司の方が忙しそうなおうらを出していると、新入社員は『今は話し掛けてはいけないのではないか』と過度に遠慮し、報告や相談を躊躇して

しまうことがある。彼らは周囲に配慮ができるからこそ、言うべきことを飲み込んでしまいう可能性があり得る。

そこで、上司の方々にお願いしたいのは、新入社員が話し掛けたそうになっている様子を察した際、積極的に声を掛けてほしいということ。

あるいは、より具体的な対策として『相談を受け付ける時間』と『作業に集中するため相談を控えてほしい時間』を明確に提示することも効果的と考える。

新入社員側にとっても基準が明確であれば、安心して行動できるようになる。そうすることで、互いのスムーズなコミュニケーションにつながるかと考える」と語った。

貸し会議室を低料金で、ご提供いたします

全国家電会館

一般社団法人 日本電化協会

東京都文京区湯島三一六一
電話 03(38332)4291

第21回新鋭社員1年後フォローアップ研修

3年後の「あるべき姿」を明確化

東京都電機卸商業協同組合（TEP）教育情報委員会は4月15日、大谷更生総合研究所合同会社代表の大谷更生氏を講師に招き、入社から1年が経過した社員を対象に行う「第21回新鋭社員1年後フォローアップ研修」を全国家電会館で開催し、10社から22名が参加した。

開催に当たり、市村康徳教育情報委員長が「皆様は1年



挨拶する市村委員長

前に新鋭社員早期戦力化ゼミナールを受講されたかと思う。その後、半年が経過した時点で6カ月後フォローアップ研修を経て、本日、さらに1年が経過した節目にお集まりいただいたことになる。



研修の解説をする大谷講師

ているかと思う。しかしながら、キャリアとしてはまだ1年が経過したばかりの段階。そのため、現時点ではまだ先輩方が築き上げてきた知識や経験という財産を頼りに、仕事を進めている部分も多分にあるのではないだろうか。だからこそ、ぜひこのような機会を通じて積極的に学び、自身をさらにレベルアップさせていただければと考えている。

通常、1日の業務時間は7時間から8時間ほどあるかと思うが、日々の仕事に追われる中では、体系的な学びの機会を確保することはどうしても難しくなってしまう。そのため、今回の研修のような場を活用することはもちろん、日常的な自己啓発も含め、常に勉強し続ける姿勢を忘れないでほしい」と激励した。

続いて大谷講師は研修について「本日は『変化の激しい

時代にどう対応するか』というテーマについて考えていく。

入社からこれまでの1年間で振り返る時間を設けることで、この1年間の実務を通じてどのように取り組んできたか、何を感じたかという『現在地の確認』を行う。その上で、会社が皆様にとどのような社員像を期待しているのかを整理する。

これ以外にコミュニケーション能力、特に『聞く』を高めるための講義を行い、続いてコミュニケーション能力の向上をテーマに、『伝える力』と『相互理解』について深めていく。

ここでは『アサーティブ・コミュニケーション』という考え方や、業務の基本である『報告・連絡・相談（報連相）』について詳しく解説する。

その後は問題解決能力を高

めるための手法について学び、今後のキャリア形成について考える。

具体的には、目標を立て、どのように取り組んでいくのかを整理していただき、最後に全体の振り返りを行う」と挨拶。

また「本日のゴールは『明日からの仕事に活かせるコツを2つ以上持ち帰る』こと。これを試してみようと思える具体的なアクションを見つけしてほしい」と説明。

続いて、「1年の振り返り」についてのワーキングが行われた。これは、「YWT」というフレームワークを用い、「Y…やったこと」「W…わかったこと」「T…次にやること」

について、この1年でどのような業務に取り組んだか（Y）を洗い出し、そこから何に気づき、何を学んだか（W）を整理。その上で、明日から取り組むべき具体的なアクション

ン(T)を現段階で考えると
いうもの。

成功や失敗の理由を冷静に
分析することで、成功したな
らば「なぜうまくいったの
か」、失敗したのであれば「な
ぜその結果になったのか」と
いう原因を掘り下げ、次のア
クションである「次にやるこ
と」を探った。

続いて参加者らは、社内外
の関係者との関わりの中で、
現在の自分がどのような立場
に置かれているのかを可視化
して整理することを目的とし
た「ステークホルダーマップ」
を作成。



研修の様子

これ以外にも、研修では社
会人基礎力に基づく「2年次
の社会人像」の構築やヒアリ
ングスキルの向上、アサーテ
イブな自己主張、情報の共有
や相手のタイプに応じた「報
連相(報告・連絡・相談)」
の重要性、そして問題・原因・
解決策の明確化といった「問
題解決の3原則」等について
も学んだ。

加えて、今後の目標として、
3年後の2029年3月31日
を目標期日としたキャリアア
プランを作成。

目標期日までに、自身がど
のような姿になっていたか
か、何を達成したいかを整理
し、目標とする内容だけでな
く、それを達成することで得
られる利益や自身の感情、さ
らには大きな目標を達成する
ための中間目標の設定、直面
するであろう課題、そして達
成に向けた決意表明について
も具体的に書き出した。

研修の最後は、「YWT(や
ったこと・わかったこと・次
にやること)」のフォーマット
を用いて、研修に参加した
上で「わかったこと」と、明

日からの業務に活かせる「次
にやること」に重点を置いて
研修を振り返り、研修は終了
した。

キャリアプランの確認を!

研修終了後、大谷講師に参
加者について聞いた。

大谷講師は「すでに1年間
実務を経験しているだけであ
つて、仕事に慣れている様子が
随所に窺えた。また参加者の
皆さんに時間を守るという意
識がしっかりと根付いていた
点は、非常に評価できると感
じる。

一方、演習への取り組み方
については、少し淡泊な印象
を受けた。『与えられた時間を
フルに活用して、より質の高
い成果を目指す』というより
は、『一通り形になったからこ
れでいい』と、早々に満足し
てしまっている様子が見受け
られた。

そこから一歩踏み込んで、
より良いものを追求しようと
する貪欲な姿勢があれば、さ
らに素晴らしい成長につな
がるかと思う。

今回の研修では、作成した

キャリアプランを上司の方々
に提示するよう、宿題として
伝えている。

そのため上司の皆様には、
部下が一生懸命に考えて作成
したプランに対し、できてい
る部分をしっかりと褒めてい
ただきたいと考えている。

ぜひアドバイスをする際に
は、単なるダメ出しに終始す
るのではなく、「こうすればさ
らに組織に貢献できる」「こ
うに取り組めば自身の評価
が上がる」といった、プラス
アルファの提案を心掛けてい
たい。

ただだけばと思う。
今回の研修では、「会社から
の期待」を確認する項目があ
り、参加者の皆さんは、それ
を踏まえて3年後(2029
年3月末まで)の目標を立て
ている。

上司の皆様には「自分の意
図をしっかりと汲み取ってい
る」ということを伝えていた
「期待した上で、まさにここを期
待している」と前向きなフィ
ードバックを返していただけ
ればと思う」などと思いを語
った。

ワクワクする未来へ

富久無線電機株式会社
SINCE 1923

多数のメーカーを取り扱っています
詳細はWEBをご覧ください
https://www.tomihisa.co.jp

•本社
〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-1
TEL.03-3813-5581 FAX.03-3811-3918

•所沢営業所
•所沢商品センター
•富久香港有限公司

とうきょう
でんき
おろし

告知板

5月 (皐月)

5月8日 (金) 14時~14時

30分 理事会 (東天紅)

5月8日 (金) 14時30分

18時 第77回通常総会

(同) 永年勤続者表彰式

6月 (水無月)

6月10日 (水) ~ 12日 (金)

電子機器トータルソリューション

展2026 (東京ビッグ

サイト)

7月 (文月)

7月3日 (金) 13時30分

14時30分 正副理事長・委

員長会議 (WEB会議)

7月3日 (金) 14時30分

15時30分 理事会 (同)

7月7日 (火) 13時30分

15時30分 全国電子部品流通

通連合会・理事会 (WEB

会議)

9月 (長月)

9月4日 (金) 9時30分

17時 第37回新鋭社員6カ

月後フォローアップ研修会

(全国家電会館1階会議

室)

9月7日 (月) 14時~16時

30分 年金・経済講演会

(全国家電会館5階講堂)

9月11日 (金) 12時~14時

全国電子部品流通連合

会・幹事会

電子機器トータルソリューション展2026が2026年6月10日~12日、東京ビッグサイトに東展示棟で開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

~ 皆様へのお願い ~

東京都電機卸商業協同組合は、SDGsとカーボンニュートラルの実践のため、『東京電機卸』のメール配信を進めております。ご協力いただきますよう、お願いいたします。

『東京電機卸』

機関誌編集委員会

発行人 屋宮 芳高

編集委員長 樋口 亘

編集委員 小池 一義

渡辺 勤

SATO PARTS

ND-5701-1-BL

ND-5668-2-WR

ND-1-1-CHWG

ND-2-2-BWOR

Web page QR

Short movie



- ・ NDSeries 詳細
- ・ サンプルのご依頼
- ・ 3Dデータはこちらからご覧いただけます

- 電圧・極性フリー
- カンタン取付
- IP65 (防水・防塵)

・ 防水ワッシャー使用時
・ 一部対応していない商品があります

次世代表示灯 NDシリーズ162type 新発売!

www.satoparts.co.jp